

西光寺だより

第二八三号 令和七年十一月一日発行

◆先月の報告◆

①十月九日（木）西光寺本堂にて春季永代経法要を厳修致しました。過ごしやすくなった風を感じながら今は亡き先人さまをお偲びいたしお勤めしました。その後、高島先生よりご法話をいただきました。

お浄土は心のふるさと、先に亡くなられた懐かしい人たちが、仏さまとなつて、いつでも「おかえり」とむかえて下さるところ。

いつもご一緒の仏さま。奈良の東大寺盧舎那仏像のような大きな仏さまでは想像が付きませんが、このいのちと共に一緒に歩んでくださる仏さまと想像できる大きさに浄土真宗の味わいを感じることでありました。永代経という先人を偲ぶご法要にそんなお言葉をいただく大切な時間でありました。ありがとうございました。



②十月十六日（木）大谷本廟にてみのり講・穂積講の墓参に行ってみました。毎年九月に行っていた行事でしたが、残暑厳しいということもあり、この時期に変更させていただきました。

皆さんでのお参りに多くのご参加いただきまして、お勤めとお焼香、今のいのちに繋がっている感謝の気持ちを伝えることが出来ました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

そしてこの日は大谷本廟の報恩講である龍谷会でありました。少しお天気も悪かったのですが、なかなか皆さんでご参加することもない龍谷会。ご縁といただきながら皆さんで手を合わせ、親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただきました。



お稚児さんも出ていました。





③十月二二日（水）西光寺本堂前にある旗のポールを総代さまとで撤去いたしました事、ご報告させていただきます。最近の台風被害や地震などの自然災害によってこの先のことを考え、また五〇年以上という月日が経ち、ロープも切れかかり、ポール自体錆びひどく老朽化ということもあり撤去させていただくことにいたしました。

総代の皆さま、工事指導下さいました井上マルチワークスさま、ありがとうございました。



◆十一・十二月の行事◆

・十一月 二三 日（日・祝）

報恩講法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御講師 高島 幸博 師（本願寺派布教使）

※昼はお勤めとご法話で、夜はお勤めのみとなります。

※夜七時からはお勤めのための正信偈で、報恩講法要と併せて、

前住職の十七回忌法要をお勤めさせていただきたいと思ひます。

夜は出にくい方や季節も寒い時期であります、できるだけ多くの方のご参拝で、皆さんとご一緒に偲ばせていただきたいと思ひっておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

・十二月 三一 日（水）

除夜の鐘

十一時五〇分

西光寺鐘楼